

イベント・ワークショップ

11月3日（祝）

オープニングトーク

サントリーミュージアム〔天保山〕学芸員の植木啓子さんによるトークがオープニングを飾った。「木津川アートは、それぞれの展示会場がアーティストとのコラボレーションを楽しんでおり、違和感のない素晴らしい空間を作り上げている。また地域の人々とアーティストの一体感が、極自然に伝わってくる芸術祭である。」という評価をいただいた。



土日・祝日

里山マルシェ

鹿背山ベースキャンプでの、鹿背山元気プロジェクトと木津川アートとのコラボショップ。オリジナル柿ジャムや、手作りのスイーツなどを販売。特に専用釜で焼かれたピザ、挽き立てコーヒーなどは大いに喜ばれた。ゆったりした時間を過ごした親子連れが多かった。



11月3日（祝）

くらしの中からうまれる遊び

松原邸にて作品を展開した園川絢也さんの指導のもと行われたワークショップ。蠟を使ってのオブジェ作りに、短い時間ではあったが大人も子どもも熱中。松原邸に残っていた古い雑誌を使ったことが、欠かせないポイントである。



11月6日（土）

上粕ぶらりアートなツアー

山城町ふるさと案内人の会のサポートによって、上粕のお茶問屋通り、環濠集落を見学。「オリジナル木津川アート弁当」を食べたのち、松原邸で作家による作品解説が行われた。「市内に住んでいながら、こんなに素晴らしい街並みをゆっくり歩いたことがなかった」という感想の参加者が多かった。遠方からの参加者もいた。



11月7日（日）

鹿背山旅スケッチ

建築家でもある円満字洋介さんが、鹿背山に通いながら描きためたスケッチをスライドで映しながら、見所などをお話しされた。「石垣をそんなにしっかり見たことはありませんでした」と地元の方。何気ない風景にこそふるさとの特徴が隠れていることを知らされた。





11月13日（土）14日（日）

鹿背山エリアツアー

「やまのアトリエで」「鹿背山ダンスピクニック」に申し込まれた人を対象にした、鹿背山エリアのツアー。

作品の解説と併せて、大仏鉄道遺構や鹿背山不動などのスポットも案内した。思わぬオマケに参加者もニコリ。



11月14日（日）

やまのアトリエで

ライブペインターミロコマチコさんのアクリル絵の具によるライブペイント。

幅250cm、縦90cmのまっ白なパネルに、少しずつ描かれる動物は一体何？ 観客は興味津々筆の先を見つめている。大口俊輔さんのピアノ（アコーディオン）と田中庸介さんのギター演奏が、時に静かに時に情熱的にアトリエ内に響く。視覚と聴覚によるコラボレーション。受け手はそれぞれのストーリーを心に抱きながら成り行きを見守っていた。この不思議な空間をいつまでも楽しんでいたという観客の気持ちが、最後の曲では手拍子になり、会場は一つとなった。大きな紙に大きな絵を描きたい！子どもでなくても、むずむずするような感覚を呼び覚ましてくれた。



ランチミロコマチコさんのライブペイントの前に、自然いっぱいの「アトリエやま」の庭にて、仲本章宏さんが楽しいランチを展開した。木津川市の食材を使ったイタリアンがテーマ。「皿の上に自分を表現したい」という気持ちこそ創造の世界=アートと言えよう。